

はつらっプレーに大きな声援

ボールリレーを楽しむ参加者たち

パン食い競争に挑戦する参加者たち



スポーツを通じてふれあいを深めようと「第35回八幡市障がい者スポーツ大会」が10月19日、市民体育館で開催されました。



第35回八幡市障がい者スポーツ大会

同大会は市の主催で、市内のボランティア団体などに協力を呼びかけて行われ、会場には約200人の参加者が集まりました。紅白の2チームに分かれた参加者たちは、2人1組で前を向いたままボールを後ろの人に送っていく「ボールリレー」や「パン食い競争」、「紅白玉入れ」など7種目の競技に挑戦。楽しみながらも優勝を目指す参加者たちののはつらつとしたプレーに、会場は熱気に包まれていました。

園児と保護者 稲刈り満喫

有都こども園 みやこ保育園

10月18日、有都こども園の4、5歳児64人とみやこ保育園の園児8人が一緒に、内里の田んぼで保護者たちと稲刈りを体験しました。両園は、園児たちに食べ物大切さを知ってもらおうと毎年、田植えから稲刈りまでの体験を実施しており、今回は待ちに待った収穫。

かかしを立てて、見守りなどを続けたおかげで、立派な稲に成長しました。園児たちは、小さな手に鎌を持ち、保護者に手伝ってもらいながら、黄金色に実った稲を「ザクッ、ザクッ」と次々に刈り取っていました。稲刈りを終えた園児たちは「いっぱい採れた」と大満足。収穫したお米は、11月のクッキング活動でおにぎりにしていただきます。



保護者と一緒に稲を刈る園児たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

野菜で彩り ずいきみこし巡行

収穫への感謝と五穀豊穡を祈願する御園神社秋祭りが10月13日、上奈良地区で行われ、「ずいきみこし」が区内を巡行しました。

奈良時代、サトイモの茎(ズイキ)などの野菜を朝廷に献上していたことにちなんで作られたとされる「ずいきみこし」。区内の老人クラブ「御園クラブ」のメンバーがズイキでみこしの屋根をふき、トウガラシやナスなど、今年収穫した約30種類の野菜で飾り付けました。

ずいきみこしを担ぐ担ぎ手たち



ちは、「わっしょい、わっしょい」と威勢のいい掛け声をあげながら区内を巡行した後、御旅所から御園神社まで練り歩きました。境内に到着後は、天狗面をつけた子どもによる「王の舞」と若者2人による「獅子舞」を交互に2回ずつ奉納。獅子が口を開くときに鳴る音の大きさを豊作の程度を占うとされる「獅子舞」では、「パンッ」と大きな音が鳴ると、見物人から「いい音や」という言葉と共に、拍手と歓声が上がりました。

地球レンジャー参上

園児たちに楽しみながら環境問題に関心を持ってもらおうと10月3日、八幡第四幼稚園で環境防衛隊・地球レンジャーによる大型紙芝居などが行われました。

この取り組みは、八幡市環境市民ネットと市環境保全課が協力して毎年、市内幼稚園・保育園で行っており、今年で9年目になります。

地球レンジャーを演じる八幡市環境市民ネット会員が、その年ごとに環境に関するテーマを考え、ストーリーや

絵を手作りしています。

今年の紙芝居は、ねずみたちが木を切って作ったイカダで、虫が住んでいたり、ごみで汚れていたりする川を海まで下っていく物語を通して、山や川、海の大切さを学ぶことをテーマにしています。

紙芝居が始まると、園児たちはかわいいキャラクターに笑顔になりながらも、物語に聞き入っていました。

また、ごみの分別クイズや、紙芝居で出てきた悪い例を描いたボードで間違い探しも行われ、園児たちは楽しみながら環境問題を学んでいました。



間違い探しに挑戦した園児

環境問題 紙芝居で学ぶ